

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
-----	-----------

○令和 2 年度第 1 回総合教育会議

1 開会

司会 (関根参事兼企画政策課長)	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから令和 2 年度第 1 回久喜市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>本日は、令和 2 年度、最初の会議となりますので、出席者の紹介をさせていただきますと存じます。</p> <p>初めに、梅田市長でございます。</p> <p>次に、柿沼教育長でございます。</p> <p>次に、榎本教育長職務代理者でございます。</p> <p>次に、諸橋教育委員でございます。</p> <p>次に、山中教育委員でございます。</p> <p>次に、小野田教育委員でございます。</p> <p>続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>まず、総務部の職員でございます。</p> <p>中村総務部長でございます。</p> <p>渡辺総務部副部長でございます。</p> <p>企画政策課木村主幹でございます。</p> <p>企画政策課石川係長でございます。</p> <p>企画政策課綱川主事でございます。</p> <p>私、企画政策課長の関根と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>次に、教育部の職員でございます。</p> <p>野原教育部長でございます。</p> <p>吉澤教育部副部長でございます。</p> <p>榊原参事兼教育総務課長でございます。</p> <p>最後に、本日の協議事項の説明者でございますが、健康・子ども未来部の尾崎参事兼保育課長でございます。</p> <p>教育部の青木指導主事兼参事兼指導課長でございます。</p> <p>坂東学務課長でございます。</p> <p>さっそく会議に入らせていただきたいと思いますと思いますが、会議に先立ちまして、皆様に幾つかご了解をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>まず、総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 4 第 6 項の規定に基づきまして、個人の秘密を保つために必要があるとき、会議の構成が害されるおそれがあるとき、その他公益上必要があると認めるときを除き、公開することとしておりますので、本会議も原則公開というかたちになりますので、よろしく願いいたします。</p>
---------------------	--

梅田市長	<p>また、本日の会議の記録のため、録音につきましてもご了解をいただきたいと存じます。</p> <p>次に、会議録についてでございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第7項の規定に基づきまして、総合教育会議の終了後、遅滞なく、総合教育会議の定めるところにより、その会議録を作成し、これを公表するよう努めなければならないとされております。</p> <p>また、本市におきましては、審議会等の会議の公開に関する基本的な考え方の中で、会議録の作成及び公表について定めております。本会議の会議録につきましても、「てにをは」、「複数の委員による同時双方向的な議論で整理しないと分かりにくい発言」、「同一委員による繰り返しの発言」等を調整するとともに、「資料に基づく事務局からの説明を省略」し、ほぼ全文方式にて、発言者の氏名を含めて会議録を作成したいと思いますので、ご了解をお願いしたいと存じます。</p> <p>次に、会議録の確認及び署名する構成員につきましては、市長及び市長が指名する1名の構成員といたしたいと存じますので、市長からの指名をお願いいたします。</p> <p>教育委員の名簿の順をお願いしたいと思っておりますので、今回の会議録の署名は「諸橋委員」さんをお願いできますか。</p>
諸橋委員	はい。
梅田市長	よろしく申し上げます。
司会 (関根参事兼企画政策課長)	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>本日の会議録の署名は、梅田市長と諸橋委員をお願いしたいと存じます。</p>

## 2 市長あいさつ

司会 (関根企画政策課長)	<p>次第に基づき進めさせていただきます。</p> <p>初めに、梅田市長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。よろしく申し上げます。</p>
梅田市長	<p>皆様、改めましてこんにちは。</p> <p>本日は、令和2年度第1回久喜市総合教育会議を招集いたしましたところ、教育委員の皆様におかれましては、お忙しいところご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の脅威が続く中、児童生徒の健康を守るために、臨時休校や分散登校、校内での感染防止対策等につきまして、教育長をはじめ各学校の先生方にご協力いただき、大変ありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。</p>

<p>司会 (関根参事兼企画政策課長)</p>	<p>本日は、令和2年度の第1回目の会議ということで、「『久喜市総合戦略』に係る教育委員会の事務」、「幼児教育と保育」の2点につきまして、協議・調整をお願いいたします。</p> <p>本市では、昨年度に人口減少対策と地域活性化についての取組をまとめた第2期久喜市総合戦略を策定したところであります。この総合戦略では、子どもたちの教育環境の整備や子育て支援の充実などを重要な取組と位置づけ、時代に合った教育環境や切れ目ない子育て支援体制の整備を推進しているところであります。</p> <p>本日は、このような本市の取組に関しまして、皆様のお考えをお伺いし、意見交換をしてまいりたいと考えております。</p> <p>ぜひ皆様から忌憚のないご意見を賜り、本会議が有意義なものになりますことをお願い申し上げまして、簡単ではありますが、開会に際してのごあいさつといたします。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
-----------------------------	--

### 3 教育長あいさつ

<p>司会 (関根参事兼企画政策課長)</p> <p>柿沼教育長</p>	<p>続きまして、柿沼教育長よりごあいさつをいただきたいと存じます。よろしくをお願いいたします。</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>先般、梅田市長から、令和2年度第1回久喜市総合教育会議の開催のご案内をいただき、本日は教育委員の皆様と出席をさせていただきました。</p> <p>梅田市長におかれましては、日頃より教育行政への深いご理解とご支援をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の問題が深刻であります。感染拡大を防止するため、学校も長期に及ぶ臨時休業を余儀なくされ、この休業中の子どもたちの学習をどう保障するかということで、オンライン学習が注目をされる一方で、我が国の学校におけるICT環境の脆弱さが露呈したことから、国は急遽GIGAスクール構想を5年前倒しで実施することとなりました。</p> <p>本市では、梅田市長のご理解のもと、先の6月定例市議会におきまして各学校における新型コロナウイルス感染症対策のための多額の対策費や人員の確保のための経費と併せ、1人1台タブレットに係る予算をいち早く上程していただき、可決をされました。したがって、安全な環境の中で、全ての児童生徒に学習用端末を活用した授業ができるようになります。</p> <p>これと並行して、本市ではGIGAスクール構想を具現化するため、グーグル社をはじめ多くの企業から1人1台端末や大容量のネットワークの無償提供を受け、また新しい学び方を研究する東京大学COREF</p>
--	---



<p>坂東学務課長</p>	<p>それでは、初めに学務課からG I G Aスクール構想の整備スケジュールについてご説明をいたします。資料は、資料1—1を御覧いただきたいと存じます。</p> <p>文部科学省が提唱いたしますG I G Aスクール構想につきましては、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正で個別適正化された学びを、全国の学校現場で持続的に実現させることを目的としておりまして、これらを実現するため、教育委員会では資料にお示しいたしましたとおり、（１）の校内通信ネットワーク整備と（２）の児童生徒用端末の整備、これらの整備を一体的に進めているところでございます。</p> <p>初めに、（１）の校内通信ネットワーク整備についてでございます。</p> <p>こちらは既に工事請負契約を締結しておりまして、工事の概要は市内小中学校の校内通信ネットワーク及び校内高速無線LANの新規整備並びに充電保管庫の設置を行うものでございます。また、工事場所は令和3年4月に統合を予定しております江面第二小学校を除く市内小中学校33校でございます。</p> <p>今後のスケジュールにつきましては、令和2年7月上旬から8月上旬に受注者による現地調査を実施し、併せて10月上旬までに通信機器や配線工事に必要な部材の調達を行いたいと考えております。工事の実施に当たりましては、7月下旬に学校と受注者による日程調整を行いまし、資料には8月上旬から10月上旬に学校のLAN配線工事、それから9月下旬から令和3年1月下旬にネットワーク機器の設置及び設定、2月に整備したネットワークの接続試験というふうに書かせていただきましたが、現在業者との打合せをしている中で、作業効率を考えると、この辺の配線工事から試験まで、1校ごとに工程を完結させる方法についても現在検討しているところでございます。いずれにいたしましても、履行期限であります2月下旬までに庶務課による検査を終了させるという予定で考えております。</p> <p>次に、資料の右側になりますが、（２）児童生徒用端末の整備についてでございます。こちらは、令和2年度一般会計補正予算で予算計上したところでございますが、概要につきましては児童生徒1人1台の端末を令和2年度中に整備するというものでございます。</p> <p>今後のスケジュールにつきましては、令和2年6月から7月下旬に端末に係る仕様の検討を行ってまいります。次に、8月5日の指名委員会で指名業者を選定した上で、8月中旬から下旬に指名競争入札を実施し、物品購入契約の仮契約の締結を行いたいと考えております。その後は、条例の規定により、予定価格2,000万円以上の財産の取得については、議会の議決に付さなければならないということになっておりますので、市議会9月定例会に財産取得についての議案を上程し、ご議決いただきましたら、10月から令和3年2月下旬までに端末の発注、初期設定、納品を行い、2月下旬に検査を終了するという予定で考えております。</p> <p>学務課からの説明は以上でございます。</p>
---------------	---

<p>青木参事兼指導課長</p>	<p>それでは、2つ目といたしまして「久喜市版G I G Aスクール」に向けての取組報告ということでございます。</p> <p>指導課指導係の太田指導主事、山本指導主事、それから川島係長の3名が、G I G Aスクール構想を中心となって進めてくれているところです。本日は、実際にデモ機を持ってまいりましたので、皆様に体験していただくということで、機械が止まったりした場合は、山本と私が支援員で後ろに入りますので、存分にお申しつけていただければと思います。プレゼンは、係長の川島が行います。</p>
<p>川島課長補佐兼指導係長</p>	<p>それでは、「久喜市版G I G Aスクール」に向けての取組につきまして、指導課から報告いたします。</p> <p>こちらの画面に資料が映っておりますが、皆さんのお手元の端末にも同じ画面が映っているかと思えます。見やすいほうを御覧になりながら聞いていただけたらと思えます。よろしく願いいたします。</p> <p>昨年度の総合教育会議において、今と同じような形で「久喜市版未来の教室」の実現についてお話させていただきました。「久喜市版未来の教室」では、1人1台の端末を利用することにより、A I、I C Tが一人ひとりの学習状況を分析し、その子に合わせた教育を提供する教育の個別最適化と学校で学ぶメリット、集団での学びを生かし、汎用的な能力を養う問題解決型学習を提供できる学校を実現したいのですといった趣旨の話をさせていただきました。これが10月21日のことでした。</p> <p>その少し後でした。翌月11月13日、経済財政諮問会議において安倍議長からパソコンが1人当たり1台となることが当然だということを経済財政諮問会議として明確に示すことが重要との発言がありました。そして、文部科学省から示されたG I G Aスクール構想、目指すべき次世代の学校・教育現場として5点挙げられました。</p> <p>1つ目は、オンライン教育の実施、2つ目は教育の個別最適化、3つ目はプロジェクト型学習、4つ目は校務の効率化、5つ目は経験と技術のベストミックス、まさに久喜市が目指していたものと重なります。そこで、私たちは国のG I G Aスクール構想を踏まえた久喜市学校教育情報化推進計画（案）を作成し、「久喜市版未来の教室」の実現を目指すことにいたしました。解決すべき課題は、端末や通信環境等のハード面の整備と、併せてアプリケーション等のソフト面の整備と、それを使用する教職員の資質能力の向上です。</p> <p>「久喜市版未来の教室」の実現に向けて、いよいよ歯車が回り出したと喜んだのも束の間、現在も続く新型コロナウイルスの猛威による歴史的にも例を見ない3か月にわたる学校の臨時休業が行われました。前例なく、急な事態に、現状に対応することにとらわれていた私たちに、柿沼教育長がおっしゃられました。「子どもたちのためにできることはないのか、何もしないなんてことがあり得るのか。」</p> <p>私たちは、改めてこの状況下で、精いっぱい子どもたちのためにできることを考えました。家の中に籠もりきりになっている子どもたち、外出自粛が求められる中、外に出ずに学習やコミュニケーションを行うには、I C Tが効果的であるのは誰もが認めるところです。オンライン学</p>

	<p>習を実現しよう、4月6日にはマニュアル等の資料を配布し、校長先生方に説明を行いました。</p> <p>学校に説明した後、4月13日からの週で保護者の皆様にアンケートをとらせていただきました。学校から連絡メールで送信し、オンラインで回答していただきました。結果がこちらです。「タブレット等の端末がありますか。」ある、約97%、ない、約3%。ないご家庭は約300件でした。「家庭にインターネットに接続できる通信環境がありますか。」ある、約95%、ない、約5%。ないご家庭は約400件でした。「オンライン学習の実施を希望しますか。」双方向型を希望、約35%、一方向型を希望、約56%、希望しない、約9%。この結果を踏まえ、環境のないご家庭に配慮しつつ、一方向または双方向あるいはその両方のオンライン学習支援を学校の実態に合わせて実施することといたしました。</p> <p>一方向のオンライン学習支援の様子がこちらです。</p> <p>〔動画配信例視聴〕</p>
川島課長補佐兼 指導係長	<p>このような一方向のオンライン学習支援は、好きな時間に繰り返し視聴することができるので、学習支援に効果的でした。教員にとっては、このような体験は初めての方が多かったため、1つ目の動画を作成するまでには時間がかかりましたが、1つ投稿できた後は、要領を得て2つ、3つとどんどん投稿することができました。</p> <p>双方向のオンライン学習支援の様子がこちらです。</p> <p>〔テレビ会議システム例視聴〕</p> <p>ステイホームが続く中、教員と子ども、子ども同士がお互いの顔を見てコミュニケーションをとることができ、心のケアにも役立ちました。報道にも何度も取り上げていただき、結果的に見れば久喜市は全ての学校でオンライン学習支援を実施することができました。オンライン学習支援の事例が積み重なる中で、子どもたちのためにもっともっと効果的な支援を行いたいとテレビ会議システムだけ、動画配信だけではなく、課題の配布、提出や個別の質問、相談など、様々なサービスが安全なオンライン環境の中で提供できる統合型アプリケーションの導入が求められるようになってきました。</p> <p>そこで、学校も保護者も無料で利用することができ、オンライン学習支援に必要なアプリケーションがそろっていて、学校再開後も有用に活用していくことができるものとして、かねてから検討していたG Suite for Educationを導入することに踏み切りました。このG Suiteは、GIGAスクール環境下においても根幹となるサービスです。久喜市教育委員会が、久喜市内の全児童生徒、全教職員に教育グーグルアカウントを発行し、そのアカウントを持っている人しか参加できないクラウドサービスですので、外部から侵入されたり情報が漏えいしたりする心配がありません。画面には、そのほんの一部ですが、機能を紹介しており</p>

ます。ほかにも様々なアプリケーションが無料で利用できます。このG Suite for Educationがどのようなサービスで、どのようにGIGAスクールに結びつくのか、皆さんにも体験していただきたいと思います。

それでは、皆さん、お手元の端末に目を向けていただいて、画面上のほうに総合教育会議クラスというタブがあるかと存じます。そちらをクリックしてみてください。

すると、このような総合教育会議クラスという画面になったかと存じます。このクラスは、オンライン上にある仮想教室です。このクラスに入ることができるのは、久喜市教育委員会指導課のドメインにひもづくアカウントのみです。さらに、久喜市の教員が招待した教員または生徒のみが入ることができます。どんなことができるか、体験してみましよう。

それでは、皆さん、ピースをしていただいてよろしいでしょうか。クロームブックはちょっと操作の仕方が特殊です。タッチパッドを指2本で上下に動かしてみてください。すると、クラスルームが上下に動いたかなと思います。

ここがクラスの掲示板になります。子どもも教員も全員がアカウントを持っておりますので、ここに連絡したい事項等を投稿することができます。例えばということで、上から2つ目の記事を見ていただくと、明日は三角定規を持ってきてくださいなんていう連絡もあるかなということで入れさせていただきました。このように連絡として使うことができます。

もう少し下に行っていただくと、グーグルスライドを使って共同編集してみましようという投稿があるかと存じます。そこにグーグルスライドの添付ファイルがあるかと思えます。そちらをクリックして開いてみてください。すると、パワーポイントのような画面が開いたかと思えます。こちらはグーグルスライドというパワーポイントのグーグル製品になります。特徴は、共同編集ができることです。

左のほうを御覧になっていただくと、1番から7番までスライドがあるかと思えます。そのスライド、ちょっと画面を触っていただくと、それぞれのスライドに皆さんのお名前を入れさせていただいております。ご自身のシートを見つけていただいて、これからここに皆さんに夏の風景のシートをつくっていただきたいと思えます。入れていただくのは、画像とコメントの2つです。

画像の入れ方ですが、ここをみんなで一緒にやらせていただけたらと思えます。ご自身のシートを選んでいただくと、右下のほうに黒い四角に星マークがあるかと思えます。そちらにカーソルを持っていただくと、データ検索という文字が現れます。そちらをクリックしてみてください。すると、右側にデータ検索という窓が現れました。データ検索のすぐ下に虫眼鏡のマークがあります。そこに「夏」と入力してみましよう。

ウェブ、画像、ドライブという3つのタブが出てきたかと思えます。その中の画像のタブをクリックしてみてください。このように、今まででしたら、インターネットで別に画像を検索して探さなければなりませ



んでしたが、グーグルスライドはグーグルの検索機能がいつもリンクして動くようになっております。ですから、横の窓で画像や情報を検索することができるんですね。

では、その画像の中から、これが夏の風景だなと思うものを1つ選んでいただいて、画像のところにカーソルを持っていくと、右上にプラスボタンが出てきますので、そのプラスボタンを押して画像を1つ入れてみてください。

では、画像を入れられた方は、その下にコメントの枠を作ってください。そこにその画像について一言コメントをお願いいたします。

今、作業していただいていると、左側のほうのシートにどんどん皆さんの作業の様子が映ってまいります。このようにグーグルのスライドは同時に編集できるところが特徴です。

今、進捗状況としてはこのような形ですね。これまでの製品ですと、誰か1人が開いていると、もう一人は読み取り専用になってしまいましたが、このようにリアルタイムで同時に編集していくことができます。友達が作業している内容もリアルタイムで確認ができますし、何をしたらいいかななんていうときは参考にすることもできます。

そうしましたら、こちらの画面を見ていただきますと、皆さんのシートがこのように一覧にして見るすることができます。クラスの学習であれば、友達の作品同士をこのように比較して見るなんていうことができるわけですね。また、シートにコメントを記入するなんていうこともできます。友達の作品を見て、こうだったねなんていうことを書き込むことも可能なわけです。ちょっと見てみましょうか。

では、こちらのシートから見てみたいと思います。夏休みの宿題、ステイホームで模型作製、なかなか面白いですね、ガンダムの作品ということで。夏はヒマワリが一番ですね。これはラベンダーでしょうか、こんなふうにして、きれいなお花ですね、皆さんの作品を一度に見ることができますという紹介でございました。

それでは、皆さん、もう一度一番上のタブ、総合教育会議クラスのタブをクリックしてください。先ほど使ったグーグルスライドの1つ下に、音声入力お試しというファイルがあるかと思います。そちらを開いてみてください。グーグルの製品は、グーグルの音声入力が標準装備についております。私がやってみますので、共同編集で皆さんのものにも同じように文字が出てきます。では、御覧になってください。

「皆さん、こんにちは。久喜市教育委員会指導課の川島です。本日は、総合教育会議でこのような時間をいただき、ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。」

いかがでしょうか。誤字脱字一つもないかと思います。

これはグーグルのAIが前後の文脈を判断して漢字を当てはめてきます。ですので、かなり正確な文字変換ができるようになっております。

それでは、もう一度一番上、総合教育会議クラスのタブをクリックしてください。続いて体験していただくのはアンケートでございませう。先ほどの音声入力の1つ下にお試しフォームというファイルがあるかと思

います。そちらを開いてみてください。幾つか質問を用意させていただいております。

まず1つ目、右利き、左利き、どちらですかという質問です。これはどちらか選択式になっております。どちらか1つをクリックしてみてください。

2つ目の質問は、好きな季節はという質問です。こちらは2つの季節、3つの季節が好きな方もいらっしゃると思いますので、同時に選択できるような選択肢になっております。幾つかをクリックしてみてください。

最後の質問は、今食べたいものはという質問です。こちらは記述式で回答できるようにしてございます。

このようにとても簡単にアンケートをつくることができ、いろんな回答方法を選択することができます。これは使い方によってはテストとして利用することも可能でございます。そして、この特徴がですね、今前の画面には私の親機の画面が映っております。こちらには皆さんが回答いただいた内容、リアルタイムで集計されて出てきます。今3件になりましたね、今のところ全員右利きでございます。

好きな季節でいいますと、春と秋が同率1位ですね。夏と冬が半分ぐらいでしょうか。今食べたいものは、肉、ウナギ、かき氷、アイスクリームでございます。

このような形で、子どもたちが答えた内容が即座にグラフ化されて出てきます。

また、こちらは、エクセルのようなシート、スプレッドシートと言いますが、すぐに出力することができます。スプレッドシート、エクセルのようなシートで一覧化して見ることもできます。

それでは、再び皆さん、一番上のタブ、総合教育会議クラスをクリックしてみてください。最後に、テレビ会議システムでございます。こちらは既に今発動しておりますので、クリックはしていただきませんが、クラスの一番上のところを見ていただくと、ミーートのリンクというところがあるかと思えます。こちらはクリックしなくて大丈夫です。こちらをクリックするとどうなるかという、皆さん画面の一番上のタブ、ミーートと書いてあるタブをクリックしてください。ここまで行ってきましたテレビ会議の画面が出てまいります。

これらのアプリケーションが全て無料で利用することができるというようなソフトでございます。

それでは、画面を戻していただきます。ということで、G Suite でのようなことができるのかを体験していただきました。これらのサービスを利用して、既に4月から校長会や教頭会、教職員の研修会などはオンライン化しております。こちら教頭会の様子です。

このようなかたちで、市内各在籍校からオンラインで参加していただいて会議を行ってまいりました。これまでのオンライン学習支援に関する取組により、久喜市内の教職員のICTスキルは格段に向上してまいりました。

	<p>最後のスライドになります。「久喜市版G I G Aスクール」の実現に向けて、現在、学務課でハード面の整備を進めていただいております。そして、臨時休業期間のオンライン学習支援の取組を通して、ソフト面の基幹アプリケーション、G Suite for Education が導入できました。</p> <p>さらに、教職員のICTスキルを向上させることができました。これは他市町村と比べて大きな、大きなアドバンテージでございます。さらに、この7月から清久小学校でGoogleを中心とする企業群から端末や通信環境等を提供いただき、G I G Aスクールに先んじて1人1台環境下における教育活動についての研究を実施いたします。これは全国的にも例を見ない先進的な研究でありまして、多方面から注目いただいております。これを主にオンラインで市内全校で共有してまいります。</p> <p>昨年度から構想していた「久喜市版未来の教室」、そして新型コロナウイルス対策のための臨時休業をチャンスに変えて加速し、清久小学校での研究でさらに発展させ、「久喜市版G I G Aスクール」を実現する。これが私たち教育委員会事務局の進めております取組でございます。</p> <p>指導課からは以上です。ありがとうございました。</p>
<p>青木参事兼指導課長</p>	<p>以上でございます。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>ただいま担当課から、久喜市総合戦略に係るG I G Aスクールの内容についての説明がありました。これらの内容について、まず意見交換をさせていただきたいと思っております。通常ですと、各委員さんにご意見を承っているんですけど、そのような形でよいですか。</p> <p>教育長を最後に、では代理者からいいですか。</p> <p>榎本代理者、どうぞ。</p>
<p>榎本教育長職務代理者</p>	<p>大変有意義なプレゼンをしていただきありがとうございます。</p> <p>ちょっとお伺いしたかったのが、ハード面の状況は分かったんですけども、先生の指導はやっぱり教科書がベースで指導をしていくような形になるのでしょうか。また、清久小学校で始まったということなんですけども、何名ぐらいの対象人数で、クラスの学校によっては人数の多い、少ないがあると思うんですけども、多くても少なくても大丈夫なのかなという、ちょっと2つお伺いしたいんですけども。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>どうぞ、指導課長、お願いします。</p>
<p>青木参事兼指導課長</p>	<p>まず、教科書についてでございますが、現在、紙の教科書が配られていて、それを使っているところで、来年度以降につきましてはデジタル教科書を配布することが今、国で検討されていて、場合によっては1人1台端末の中にデジタルの教科書が入るということで、配るということになっております。ただ、それだけではできませんので、Googleの今</p>

	<p>この機能をいろいろご紹介させていただきましたが、このほかにも問題を提供して解いて、答え合わせをするみたいな別のアプリもこの中に導入して、個別に知識や技能を習得する場面、練習問題を解いたりする場面についてはPCを使った個別最適化というものを図っていきたいと考えております。</p> <p>それから、清久小学校ですが、現在Googleから清久小学校に皆さんのお手元にあるのと同じ端末をお借りしているところなんですけど、台数は172台で、小1から小6まで全ての児童が持っているところです。校内ではネットワークがきちんと動きますように、アンテナであるとか充電保管庫であるとか、Googleに協賛する企業のほうから同時に提供を受けて、無償でやらせていただいております。</p>
榎本教育長職務 代理者	<p>では、この画面の中に、先ほどすごく区割りされた子どもの顔が映っていたんですけど、例えば教室が20人のクラスだったら20人で割って、ただ37、8人のクラスになっちゃうと、子どもの顔が小さくなっちゃうということですか。</p>
青木参事兼指導 課長	<p>ありがとうございます。グリッドビューというアプリがありまして、それを入れますと今の分割よりもより細かな分割にすることができます。ただ、端末の画面に確かに1学級40人までと考えると、顔が小さくなってしまうのは榎本教育長職務代理者さんがおっしゃるとおりでございます。</p>
榎本教育長職務 代理者	<p>では、拡大は。</p>
青木参事兼指導 課長	<p>テレビに映すみたいなことで大きく出すということも考えられます。</p>
榎本教育長職務 代理者	<p>それと、文字を書くということもできるんですか。</p>
青木参事兼指導 課長	<p>音声入力にも手書き入力にも対応しているものを購入していただく予定でございます。</p>
榎本教育長職務 代理者	<p>手書きとは。</p>
青木参事兼指導 課長	<p>タッチパネルみたいな感じですか。</p>
議長 (梅田市長)	<p>大丈夫ですか。</p>

榎本教育長職務 代理者	はい。
議長 (梅田市長)	では、山中委員さん、どうでしょうか。
山中委員	お疲れさまです。非常にすばらしいなと思っております。これは端末にもうソフトも全部入れた状態で子どもたちに渡すという理解でよろしいんですね。
議長 (梅田市長)	どうぞ、指導課長。
青木参事兼指導 課長	ベネッセのミライシードというアプリケーションがあるんですけども、それとグーグルの上で使えるような形で、実際はウェブにあるものを使うんですが、クロームブックの上で使えるような形で、より発展的な学習ができるように考えております。
山中委員	今グーグルのアカウントを全ての子どもに配られたということで、本当にありがとうございます。ただ、今現状、登録状況が、久喜小学校でもまだ半分もいっていないのかなというところが現状だと思います。登録をどういうふうに進めたらいいのかなというところなんですけど、教育委員会としてのサポートをもうちょっと考えないと、今の状況のままだと進まないのかなと思います。意見です、これは。
青木参事兼指導 課長	1つは、各学校のホームページにそういうものを案内できるリンクを貼っていただくということを、これまでもしてきたんですけども、そこを充実させるのと、34校全てに貼られるように確認をしたいと思います。また、併せましてインターネット環境がないとかホームページを見られないというご家庭もあると思いますので、学校からは場合によっては紙での支援もできるように、両面カラーで、第2波、第3波がいつ来るか分からないというか、臨時休業になっているところが近くを見てもたくさんありますので、早急に対応できるように頑張りたいと思います。
山中委員	ありがとうございます。今、学校の中でオンライン用のアカウントとか、そういう部分の担当の先生がいらっしゃると思うんですけども、逆に保護者から教わっている先生もいらっしゃるんで、もう少し担当の先生に事細かに教えていただくなど、指導を徹底していただければなと思いました。 以上です。
青木参事兼指導 課長	承知いたしました。

議長 (梅田市長)	では、諸橋委員さん、どうぞ。
諸橋委員	確認なんですけどもこれ1人1台になると、自宅に持ち帰って、そこでまた将来的には宿題をしたりとかということもできるんですか。
青木参事兼指導 課長	昨年11月に国で、先ほど経済諮問会議というお話がありましたが、あの段階では学校で使うことが前提で話が始まったところです。ここに来てコロナのことがありますもので、もう国全体が自宅に持ち帰っての学習も可能なようにというふうにかじを切っていますので、久喜市としても当然そのような活用を十分考えて進めたいと思っております。
諸橋委員	最初は慣れるまで、子どもも先生も時間はかかって、逆に対面で普通に授業したほうが早いというふうになる可能性もあると思います。それは少しずつ実践でやって、みんなが身につけていくということになるのかと思うんですけども、ちょっと時間はかかるということはやっぱり念頭に置かれているんですか。
青木参事兼指導 課長	一番心配されるのは教職員が慣れるかというところで、子どもが慣れるのは早いかなというふうに、楽観的かもしれませんが、思っています。国が進んでいる方向ですので、教員の部分をぜひ追いつけるようにしっかりやれるように善処していきたいと思っております。
諸橋委員	よろしくをお願いします。
議長 (梅田市長)	では、小野田委員さん、どうぞ。
小野田委員	<p>大変すばらしいものだと思います。私も学校がお休みのときに、オンラインがあるということを知って、小学校に行って、どんな感じなのか見させていただいたんですけど、めちゃくちゃ簡単にというか、これでもうみんな見られているのというようなのがありました。先生たちは最初やっぱり大変だったみたいですけど、もうかなり慣れてきて、お子さんももうちゃんと分かっている、しっかりやっているんだなと思いました。</p> <p>ただ、自宅で双方向のやつをやっていたときに、壁を後ろにしてやっているお子さんと、普通にリビングの真ん中にどんと置いてやっているお子さんがいて、リビングの真ん中でやっているとお子さんが全部見えちゃうんです。何かそういうのも背景が、やっぱりこういうのもちゃんと教えていけないといけないんじゃないのかなというのを感じました。</p> <p>これを1人1台ちゃんと、こういうできるような時代になるというのはすばらしいなと思います。久喜は、もうどんどん早くやっていただければと思っています。以上です。</p>

<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>教育長、何かありますか。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>今お話があったように、1人1台のタブレットになるわけですが、先生方が今まで何十年、明治以来、黒板を中心にして、児童生徒と対面で授業するというのがずっとだったので、今度これが入ってどういうふうになるのかというのがまだなかなかイメージができていなくて、授業は今までどおりで、子どもたちはタブレットをどうするのか、その辺が一番難しいところだなと思います。教育委員会の指導課は先に行っても、学校が多分追いついてなかなか来れないかなという、そういう心配もしていますけども、いずれにしてもこのタブレットで学習するという時代になるわけで、テストもこれでやる。教科書も紙からこれに変わる。家庭学習もこれで一人ひとりの学力に応じた学習を自分でやるようになっていく。そういうふうになることはイメージできるんですけども、授業が今どう変わるかというのがちょっと一番の課題かなと思っています。何とか学校と一緒にやっていけるように努めたいと思っていますが。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>ほかにご意見はありませんか。</p>
<p>榎本教育長職務 代理者</p>	<p>学校に来る子はいいんですけども、不登校のお子さんたちにもこれを貸し出すということですか。</p>
<p>青木参事兼指導 課長</p>	<p>本日現在もそうなんですけれども、教室の授業の様子をカメラでオンラインで相談室にあるパソコンで映しまして、相談室に登校している子がそれを見て、面白そうだから教室に行ってみたいみたいな事例が、もう市内で起こっております。不登校の子に関しましては、ご家庭から学校の授業の様子、学校はつけておくだけで様子が見えますので、一日中つけておいても自宅にいながら参加できるとか、臨時休業のイメージと同じとは、ちょっと言い方が大ざっぱなのかもしれませんが、十分可能なことだと思っております。</p>
<p>榎本教育長職務 代理者</p>	<p>例えば変な意味でプライベート、プライバシーという言葉で、もしそういうお子さんが自分は映りたくないとかってなっちゃったらどうなんですか。</p>
<p>青木参事兼指導 課長</p>	<p>カメラのスイッチを切ってしまうと映らなくなりますし、また背景だけ変えるみたいなこともできます。</p>
<p>山中委員</p>	<p>背景変えるというのは。</p>

青木参事兼指導課長	背景が宇宙になったりすること。
山中委員	できるんですか。
青木参事兼指導課長	ZOOMなんかは簡単にできちゃうんですけども、G Suite もできますので。
山中委員	そうなんだ、すごいな。
榎本教育長職務代理者	なるほど、じゃ本人が映らなくても大丈夫だと。これ子どもさん同士、先生抜きでもできるんですかね。
青木参事兼指導課長	最初にそのクラスを主催するものが入らないとクラスルームというのはうまく動かないようにできているので、子ども同士でもそういう部屋をつくってあげれば、グループ活動なんかで話し合いをすることはできます。ですが、大前提として招待したものが入ってくるということになっていきますので、休みの日に自分たちが自由にやるなんていうことはできないですね。
議長 (梅田市長)	<p>では、大体意見が出そろったということですが、ぜひとも「久喜市版未来の教室」、GIGAスクール構想に関しては、今回のコロナの中で全国的にも注目される取組になると思いますので、まさに久喜市の公教育の目玉にさせていただいて、どんどん積極的にやってもらいたいなというふうに思いました。</p> <p>リモート会議も本当に久喜市役所のほうが全然遅れていて、やっこの本庁舎もこれからWi-Fi環境を整えていこうという状況です。</p> <p>せっかくWi-Fiを整えるのであれば、市役所だけではなくて公共施設全体にこれから順次Wi-Fi環境を入れていこうと考えておりますので、例えば家にこういう通信環境がない子どもたちが近くの公民館とか、そういった公共スペースで学習ができるぐらいまで、ぜひとも久喜市全体のウェブ環境を整えていけるように、頑張っていきたいと思っておりますので、ぜひともこれを久喜市の学力水準のアップと教育水準の向上に生かしていただきたいと思っております。ぜひよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次のテーマに参りましょう。</p>

#### 4 協議・調整事項 (2) 幼児教育と保育について

議長 (梅田市長)	協議・調整事項の(2)、幼児教育と保育についてであります。内容につきまして、担当課からお願いいたします。
尾崎参事兼保育課長	保育課です。



まず、国の法整備の背景でございます。国では、平成22年に子ども・子育てビジョンを閣議決定いたしまして、新たな次世代育成支援のための包括的、一元的なシステムの構築について検討が始まりました。平成24年8月には、子ども・子育て関連3法が制定されました。こちらの新たな制度のもと、子どもの最善の利益が実現される社会を目指すとの考えを基本に制度、財源を一元化して、新しい仕組みを構築し、子どもの幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充などを推進することとなりました。

次に、本市の子育て支援に関する計画でございます。本市では、平成27年3月に計画期間を5年といたします第1期久喜市子ども・子育て支援事業計画を策定いたしまして、令和2年3月に第2期の久喜市子ども・子育て支援事業計画を策定いたしまして、さらなる子育て支援の充実を図っているところでございます。

3といたしまして、ところで、保育園と幼稚園、どういうふうに違いがあるのかということでございます。皆様ご存じだと思いますが、再度まとめさせていただきました。下の比較表を見ていただきたいと存じます。保育所と幼稚園の目的は、このとおりですね。法令につきまして、保育所は児童福祉法、幼稚園は学校教育法と、所管省庁についても厚生労働省と文部科学省、入園できる年齢につきましては0歳児から小学校就学前、満3歳から小学校就学前と、標準的な保育時間は、7時半から18時半頃の8時間以上、あるいは幼稚園は標準時間、4時間以上という形になってございます。

次のページを御覧いただきたいと思います。保育士の配置基準については資料のとおりでございます。給食については保育所は義務、幼稚園は任意、資格については保育士、幼稚園教諭。保育料につきましては、市が保護者の所得状況に応じて設定、幼稚園につきましては、公立は市が設定し、私立は設置者が設定するというところでございます。そもそも保育所につきましては、両親が働いているという条件もありますけども、このような違いがあるということでございます。

次に、幼保一元化とはどんなことかということですので。育児サービスの多様化に伴いまして、ニーズに対応する幼稚園と、少子化にもかかわらず定員を超過する保育所との両者の問題を解決するために、保育園と幼稚園の一元化を図ろうとする政策です。幼保一体化施設としては認定こども園が代表的で、保育に欠けない幼児を4時間程度教育する幼稚園的機能と、保育に欠ける乳幼児を長時間保育する保育所的機能を兼ね備えた形態です。

5として、認定こども園です。これまで別々の基準で行っていた保育所と幼稚園の基準の両方併せ持ち、保育ニーズに対応することを目的とした保育施設です。子どもたちの教育、保育、子育てを総合的にサポートするほか、通園していなくても子育て相談や親子の集いの場を保護者に提供することができます。これらの幼保一体化の流れは、共働き世帯の増加などにより、子どもを保育所に入園させたくても定員がいっぱいで入園できない待機児童の増加があり、また就労の有無で入園する施設

を分けていては、拡大する保育ニーズに応えられなくなってきた現状があるとされておりまして。

最後に、久喜市の現状です。分園を含みます公立保育園が6園、私立の保育所が14園、幼保連携型認定こども園が8園、幼稚園型認定こども園が3園、小規模保育所8園の合計39園の施設が整備されています。

次のページがその一覧表になります。1から6番までが公立の保育所になります。それ以外は全て民間の保育所となっております。先ほどの幼保連携型認定こども園と幼稚園型認定こども園がありますけども、幼稚園型はゼロから2歳児につきましては受入れはない幼稚園のこども園でございます。幼保連携型は、保育所の機能も兼ね備えたという形ですので、0歳から小学校就学前までと、乳幼児の方を保育しているという現状でございます。また、その下の小規模というものがございます。こちら定員が19名以下という小規模な保育所で、0から2歳児までの間を保育するものでございます。この小規模保育所につきましては、2歳児以降、連携保育所というものを必ず設けなくてはいけないので、3歳に向けて、どこかの市内の民間保育所との連携をして、そちらに必ず入ることができるという確約をとるというところでございます。

続きまして、次のページ、最後のページですね。市内の保育需要でございます。入所児童数につきましては、平成30年度から令和2年度につきましても増えているという現状でございます。あと、申込み状況です。申込み状況につきましても、増えている現状です。待機児童につきましても増えているという状況でございます。こちらの待機児童解消に向けて、本市の保育需要の現状から、保育所等の申込者数、入所者数、入所待機児童の増加傾向にございます。令和2年度におきましては、前年度と比較し、待機児童が増加したことから、民間活力を活用して施設整備を行ってまいりたいと考えてございます。

保育課からは以上です。

坂東学務課長

学務課からも資料を提供させていただいてございますので、ご説明をさせていただきます。

資料につきましては、資料2-2を御覧いただきたいと存じます。初めに、幼稚園の状況でございます。まず、市立幼稚園の園児数につきましては、令和2年5月1日現在で中央幼稚園が3歳児クラスが31人、4歳児27人、5歳児が30人で、計88人。栗橋幼稚園が3歳児10人、4歳児34人、5歳児32人で、計76人。2園合わせて164人でございます。

次に、私立幼稚園の園児数でございますが、こちらは市内在住のお子さんのうち子ども・子育て支援新制度に移行していない従来型の幼稚園に通園する園児の数を令和2年5月1日現在でまとめたものでございます。市内の私立幼稚園は、栗橋白百合幼稚園のみですが、3歳児クラスが25人、4歳児36人、5歳児25人で、計86人でございます。また、市外の幼稚園につきましては、久喜市のお子さんが24施設を利用していますが、3歳児39人、4歳児43人、5歳児41人で、計12

<p>議長 (梅田市長)</p> <p>小野田委員</p>	<p>3人、市内、市外合わせますと25施設で209人が私立幼稚園に通っていらっしやいます。</p> <p>次に、学務課における幼児教育に係る所管事務でございます。市立幼稚園に関する事務といたしましては、各幼稚園で入園申込みを受け付けた後の入園許可に係る事務、それから令和元年10月から始まりました幼児教育無償化に伴う施設等利用給付といった事務、それと保育料や預かり保育料等を改定する際に開催する保育料等検討委員会などの事務がございます。</p> <p>また、私立幼稚園に関する事務といたしましては、施設等利用給付のほか、実費徴収に係る補足給付、こちらは各幼稚園が徴収する給食費のうち、ご飯やパンなどの主食費以外の副食費相当分について低所得世帯等を対象に給付するというものでございます。それから、幼稚園が実施する健康診断の経費の一部を補助する幼稚園児健康診断補助金、幼稚園の施設整備に係る経費の一部を補助する施設整備費等補助金などがございます。</p> <p>続きまして、幼児教育の現状でございますが、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が開始され、幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持った認定こども園の普及が進んでいる状況でございます。先ほども説明の中で触れましたように、令和2年度においては新制度に移行していない幼稚園は現在、市内で1園のみとなっております。また、市立幼稚園については、中央幼稚園、栗橋幼稚園ともに平成28年4月から新制度の幼稚園に移行しているところでございます。学務課では、市立幼稚園や新制度に未移行の私立幼稚園に係る事務を所掌している状況でございます。</p> <p>次に、資料は裏面になりますが、幼児教育に係る事務の課題でございます。2点挙げさせていただきました。1点目が、幼稚園、保育所、それから認定こども園につきましては、いずれも子ども・子育て支援法に基づく同じ事務を行っておりますが、対象事務によって担当課が保育課と学務課に分かれている状況でございます。</p> <p>2点目が、保護者からの主に電話により相談や申請等を受け付ける際の市の窓口が一本化されていないことから、市民にとって分かりにくさがあるというふうに感じているところがございます。これらが現状の課題として考えているところでございます。</p> <p>説明は以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、改めて質問、ご意見などいただきたいと思っております。</p> <p>小野田委員さんからお願いします。</p> <p>すみません、幼稚園の状況なんですけども、新制度に変わったというのは3歳児が増えたというだけではなくて、認定こども園としての機能を持っているということなんですか。</p>
-----------------------------------	---

坂東学務課長	<p>新制度に変わった後の状況でございますけれども、一番大きいのがまず入園するための手続として、認定を受けるということが発生してまいります。具体的には、幼稚園に入る対象者の方は1号認定というものを受けます。あと2号認定、3号認定というのが保育所に入所するとき、例えば両親の就労状況が何時間以上で、何歳児だと2号認定ですと、そういった形で幼稚園に入園できる対象の方と保育所に入園できる対象の方の認定をまず受けるということが出てまいります。</p> <p>それから、保育料につきましては、以前は一律で8,000円という徴収額でしたけれども、新制度に移行して以降は国が定めた上限額の基準額があるんですけれども、その基準額の範囲内で市町村が定める、そういった形になりますので、その辺が従来型と新制度に移行した園の違いです。</p>
小野田委員	<p>あともう一つよろしいですか。</p> <p>待機児童が40人いるということですが、これは保育所に申し込んだけれども、外れてしまった方が40人という考えですね。このほかに、もしかしたらちょっと無理そうだから、保育園に入れなくておうちで見えていましてというのが158人いるということですか。</p>
尾崎参事兼保育課長	<p>40人というのは、国が定めた待機児童という対象者になります。それ以外、例えば今入っているんだけど、ほかの園を希望する、転園希望者というのが潜在的待機児童の158人の中に入っているんですね。あとは求職活動を休止している人、例えば分かりやすい例で言いますと、今コロナ禍の中で育児休業しているとか、あるいは求職活動している、なかなか就労できないという方が、少し期間が延びてしまうというふうな方も入っています。あと、先ほどいった育児休業の延長や、私的な理由で、特定の園しか入りたくないというのも入っており、それらを合わせて158人です。</p> <p>保育は、基本的にお子様を預けるに当たって、保護者の負担も考慮して20分以内と言われるんですね。例えば、久喜の人が栗橋が空いているから栗橋に行こうといっても、仕事がさいたま市だったら、逆にすごく時間かかってしまいますので、そこは現実的ではないのかなということです。40人のうち28人が1歳児で、1歳児はいろんなところを第1希望、第2希望、第3希望出してもなかなか空きがないという状況です。2歳児、3歳児が6人ずつぐらいで、合計で40人という形で待機児童が出ているという状況です。</p>
小野田委員	<p>では、この待機児童ということは、次の年には優先的に入れるとか、そういうのは全くないわけですね。</p>
尾崎参事兼保育課長	<p>就労の状況や高齢の父親、母親を介護しているなど、いろんな加算要件がございますが、去年の状況によって優先度がワンランク、ツーランク上に上がるかということ、加点はされません。</p>

小野田委員	<p>加点はなしということですね。 先ほど20分ということでおっしゃっていたんですが、地域によってやはりばらつきがあるということですね。</p>
尾崎参事兼保育課長	<p>ばらつきというのは。</p>
小野田委員	<p>要は栗橋地区と久喜地区を見た場合には、もしかしたら久喜のほうが保育所はたくさんあるので、久喜のほうが待機児童が少ないのかなとか、そういうのはないですね。</p>
尾崎参事兼保育課長	<p>待機児童数は、久喜地区は13人、栗橋は5人で、そういったことはございません。</p>
小野田委員	<p>ありがとうございました。</p>
議長 (梅田市長)	<p>諸橋委員さん、どうぞ。</p>
諸橋委員	<p>待機児童が意外と多いんだというのが実感だったんですけども、これ入れなかった保護者は、認可外ですとか、そういったところに入れている方もいらっしゃるんですか。</p>
尾崎参事兼保育課長	<p>久喜市にある認可外は、病院の認可外と、あとはヤクルトさんなどで、基本病院の看護師さんのための認可外保育所がほとんどです。</p>
諸橋委員	<p>できれば、企業でそういった保育施設ができればいいと思うんですけども、やっぱりそれはなかなかそういった状況には進まないという。</p>
尾崎参事兼保育課長	<p>事業所内保育ということですが、久喜でいえば、資生堂さんなどでは、それをおやりになっているというように聞いていますけど。</p>
諸橋委員	<p>そうなんですね。取りあえず以上です。</p>
議長 (梅田市長)	<p>では、山中委員さん、お願いします。</p>
山中委員	<p>最後に課題としてということで、申請の市の窓口が一本化されていないため市民にとって分かりにくさがあるということで、今課題が提起されているんですけども、その一本化は可能なのかなというのがまず質問です。</p>

坂東学務課長	<p>課題としては、先ほどご説明させていただいたように、学務課としても感じているところです。ただ、すぐにそういった組織の一本化ができるかというふうに考えた場合に例えばなんですけども、市と教育委員会でそれぞれ保育料の徴収条例とか規則とか、そういったものを定めていたりとか、そういう状況もありますので、すり合わせをしていくのに相当な時間は要するのかなというふうには考えております。ただ、本日の議題としていただいたということで、学務課として感じている課題を2点ほど挙げさせていただいたという状況で、具体的に今後どうしていくということは検討段階にもないという状況でございます。</p>
山中委員	<p>本当に市民からしてみれば、窓口が一本化されているのが一番いいと思うんで、引き続き検討して対応していただければなと思います。</p> <p>あとは、待機児童については多いんだなと思う部分と、親のいろんな加点があって、順番というんですか、申し込んだ順番じゃなくて、そういう加点の上のほうの人から希望した保育園、保育所に入れるという理解でよろしいわけですね。</p>
尾崎参事兼保育課長	はい。
山中委員	それというのは、申請している皆さんって、そういう加点方式だというのはご存じですか。
尾崎参事兼保育課長	<p>加点方式というのもありますが、基本は保護者さんの就労状況によります。8時間勤務なのか、それが週何日なのかというところと比例するようになってきます。そのほか家庭内の状況、個々の状況などの加点項目というのがあるんで、それがプラスされていて、じゃ何点ですぬという点数化されているというところです。</p>
山中委員	では、逆に毎年駄目だったという保護者さんは、就労時間が短かったり何らかの加点がないからですか。
尾崎参事兼保育課長	<p>というのもありますし、求職活動しているんで、申込みましたが、最終的には就労できなかったということもあります。保育に欠けるというのは保育することができない家庭の環境ということなので、就労できなかったというのも残念な話なんですけども、点数がそれだけプラスされませんので、順位が下がるというかたちになる、そういった方もいらっしゃいます。</p>
山中委員	<p>そのタイミングによっては、もう保育園にちゃんと預けられるという確約がないと働けないという方も多分いらっしゃると思います。保育所が受からなかったから働きにいけないという保護者もいると思うんで、もうちょっとそこら辺事情を聞いていただいたほうがいいのかないかなと思いました。</p>

尾崎参事兼保育課長	事情は十分お伺いしております。待機児童解消のための取組みという話ですけれども、今年度認可保育所の公募をさせていただきまして、2つの保育所と小規模事業所4園が、来年の4月にオープンする予定でおります。それによって246人分の園児数分が確保できると考えております。
議長 (梅田市長)	だから、どうしても特定の保育園じゃなきゃだめということがなければ、待機児童は基本解消される見込みなんです。
山中委員	あとは20分以内というのがある程度の目安なわけでしょう。
尾崎参事兼保育課長	基本はそうですね。例えば先ほどの例でいうと、久喜から栗橋のほうの保育所に入所して、職場も栗橋であればいいと思うんですね。
山中委員	そうですね。
尾崎参事兼保育課長	ただ、お子さんにも負担にもなりますし、ましてや保育している親御さんの負担にも相当なってしまいますので、そこら辺は加味していかなくてはいけないのかなと。
山中委員	これはいろんな考え方があるでしょうし、やっぱり一筋縄ではいかないんでしょうね。
尾崎参事兼保育課長	そうですね。
山中委員	ありがとうございます。
議長 (梅田市長)	代理者、どうですか。
榎本教育長職務代理者	今の話の流れで行くと、結局解決するには箱物を増やすしかないのかなということだと思います。あとこの幼保一元化ということになると、教える側の資格が保育士の資格の方と教諭の資格の方とが混在して子どもさんを見るとなると、免許の違いというのが給与に影響してくるのか、その辺はどうお考えでしょうか。
尾崎参事兼保育課長	認定こども園については、子ども・子育て支援法19条の1号、2号、3号認定というものがあります。1号というのが3歳以上で幼稚園、2号というのは3歳以上で保育園と幼稚園両方兼ねたもの、3号というのは、保育園です。認定こども園では、所管の省庁が違いますので、両方の免許を持っている必要がありますが、その両方の免許を持つ

	<p>ているからといって給料が上がるのかどうかというのは、民間保育所でするので、ちょっと分からないのが実情です。</p>
榎本教育長職務 代理者	<p>この幼稚園の教諭というのは免許を取ったときに、保育士の免許も一緒にとれるのかな。</p>
尾崎参事兼保育 課長	<p>いや、所管が違いますので、やはり別物の試験だと思われま</p>
小野田委員	<p>ほとんどの方は、今両方取っています。 両方持っていないと就職できないからといって、今は幼稚園教諭を目指している人は両方取るように学校のほうでしているみたいです。</p>
議長 (梅田市長)	<p>試験の内容は違うのですか。</p>
小野田委員	<p>保育園と幼稚園は若干違うかと思ひます。</p>
中村総務部長	<p>ここ何年か、国の制度が変わってから、市でも採用するに当たっては、職員の異動も考慮して、両方の免許を持っている人を採用しています。</p>
榎本教育長職務 代理者	<p>パートやアルバイトさんなんかを雇うときにも、この免許というのは必要なのかな。</p>
尾崎参事兼保育 課長	<p>いわゆる有資格者の場合には、それだけの賃金の差が生じます。有資格者ではなくてもできるような仕事というのがございますので、そちらでよろしければこの賃金で、資格があった場合には保育者の補助的な部分になりますので、若干単価が動くという設定になっています。</p>
榎本教育長職務 代理者	<p>両方取っているのは最近の方たちが多そうなんですけど、大分若い方の離職率が非常に高い職種なので、どうしても年齢的に上の方は恐らくどっちかでしか免許を持っていないと思います。保護者の中には、保有資格を気にされる方もいるとは思いますが、先生方にはしっかり頑張っていたきたいと思ひます。 以上でございます。</p>
議長 (梅田市長)	<p>教育長、何かありますか。</p>
柿沼教育長	<p>では、せつかなので2点教えていただきたいんですが、1つはさっき学務課の資料で市外の私立の幼稚園123人というのがあったんですが、公立の幼稚園というのは久喜市の人だけですね。市外からも受けるということはないですね。</p>



坂東学務課長	ないです。
柿沼教育長	私立の幼稚園って市外からというのがいるのかどうか。保育所もそうですか。保育所も公立の保育所は市内の限定ですね。
尾崎参事兼保育課長	そうでもないんです。
柿沼教育長	<p>そうでもない。もし分かったら、市内の子どもで市外の保育所に行っている子どもの数を教えてもらいたいんですが、何でかというのと、小学生の数がどうなるのかなって、ちょっと関心を持ったものですから、もし分かればいいです。</p> <p>もう一つは、ずっと長く小1問題というのが課題になっていて、小学校に入学すると、先生の話が聞けないとか授業中歩き回るとかって、そういうことがあって、公立の幼稚園はもちろんですけど、幼稚園は比較的近くの小学校と連携をして体験入学とか活動しているんですが、保育所ってどうなんですか。もし分かっていることがあったらお聞かせいただければなど。ただ、こういう入学のときの話し合いとかじゃなくて、実際子どもたちが小学校で小学校生活を体験するとか、そういう活動をしているかどうか、ちょっとお聞きしようかなと思ったんですが。</p>
尾崎参事兼保育課長	<p>管外委託というのが実際あります。久喜市の方が働いている場所が近いのでということで白岡、加須、宮代だとか、県外も含め、管外委託をしています。それはその市と久喜市で協議をして、相手方がいいですよと言われて初めて入れます。逆に、こちらのほうにも久喜市内の企業に勤めているので、久喜市さんの保育園でお願いしたいというのもあります。相互の助け合いを保護者の負担軽減のために行っているところです。管外委託の人数は、いまちょっと手元にございませぬ。申し訳ありません。</p>
議長 (梅田市長)	<p>では、ほかにこれはというのがあれば、よろしいですか。</p> <p>保育園の定員に関しては、来年度から2つの保育園と4つの小規模保育園が加わりますので、一刻も早い待機児童の解消に努めて、しっかりと運営、管理を行っていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、以上をもちましてこの議題は閉じさせていただきます。</p>

#### 4 協議・調整事項 (3) その他

議長 (梅田市長)	<p>続きまして、協議・調整事項の(3)、その他に行きます。</p> <p>次回以降も、テーマに基づいて意見交換を行いたいと考えておりますけれども、皆様から何かご提案がございましたら、お受けしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>事務局案を提示でいいですか。</p>
--------------	---

木村企画政策課 主幹	事務局をお願いします。  では、事務局のほうから1点、「コロナ禍における教育行政」ということで、提案させていただきたいと思います。
議長 (梅田市長)	今また感染が拡大しているような状況でございますけれども、このようなコロナ禍において、久喜市教育委員会として実施いただいた各種施策について、情報提供いただきながら今後の教育行政の在り方について議論を進めていただければと存じます。
議長 (梅田市長)	提案いただいた「コロナ禍における教育行政」ということで、次回のテーマはこちらでよろしいですか。 スケジュール的にはいつぐらいになりますか。
木村企画政策課 主幹	10月頃を予定しております。
議長 (梅田市長)	分かりました。 続きまして、そのほか、皆様からご意見、ご質問、何か補足で申し上げたいこととかありましたらお受けしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。
尾崎参事兼保育 課長	すみません、管外委託の人数が分かりましたので報告します。公立保育も含めて延べ2,517人、実人数で184人です。
小野田委員	それだけ遠くに働きに行っているということでしょうね。
榎本教育長職務 代理者	逆はどうなんですか。
尾崎参事兼保育 課長	申し訳ございませんが、手元に資料がないため、分かりません。
柿沼教育長	分かりました。
議長 (梅田市長)	それでは、事務局から報告事項の説明を。
司会 (関根参事兼企 画政策課長)	委員の皆様、協議等ありがとうございました。直接本日の会議とは関係ございませんが、報告事項ということで、この場をおかりしまして報告をさせていただきます。 既に新聞報道等で、ご存じかと存じますが、現在、教育委員会の事務室として使用しております東京理科大学跡地につきまして現時点での方向性が出ましたので、ご報告させていただきます。

<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>7月2日まで開催しておりました6月定例会の一般質問でご答弁させていただいた内容になりますが、東京理科大学跡地に計画しておりました民間活力を取り入れた活用につきましては、民間事業者の意向調査を実施したところ、行政からの補助がないと参画が難しいという結果となりましたことから、活用計画は諦めるということになりました。</p> <p>その際、理科大跡地に生涯学習センターを整備するという計画もございました。こちらにつきましては、ほかの場所でも整備を検討いたしまして、鷺宮総合支所の空きスペースを活用しまして整備することといたしました。</p> <p>また、教育委員会が入っております建物につきましては、現在維持管理費が年間約7,000万円かかっておりまして、この維持管理費を削減するため、教育委員会の事務局につきましても鷺宮総合支所の空きスペースを利用いたしまして、そちらに移転するということになりました。</p> <p>移転の時期でございますが、現在のところ教育委員会は来年度の早い時期に、また生涯学習センターにつきましては令和3年度中のオープンということで考えております。教育委員会の事務局にはたびたびの移転となりますが、ご理解をいただきたいと存じます。</p> <p>なお、その後の東京理科大学跡地の活用につきましては、現時点では何も決まっておきませんので、決まりましたら、またご報告をさせていただきます。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p> <p>理科大の跡地報告ありましたけども、特にこの件はよろしいですか。また、動きがあり次第、報告をいたします。</p> <p>それでは、以上で本日予定しておりました協議・調整が終了いたしました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。</p>
----------------------	--

## 5 閉会

<p>司会 (関根参事兼企画政策課長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次回の会議の開催でございますが、先ほど出ました「コロナ禍における教育行政について」をテーマとしまして、協議・調整を実施したいと考えております。</p> <p>日程につきましては、10月以降を予定しておりますので、時期が参りましたら改めてご連絡のほうを差し上げたいと存じます。</p> <p>以上をもちまして令和2年度第1回久喜市総合教育会議を終了させていただきます。</p> <p>大変お疲れさまでした。ありがとうございました。</p>
-----------------------------	---

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和2年8月19日

久喜市長 梅田 修一

久喜市教育委員 諸橋 美津子